

新型コロナウイルス感染症対策
埼玉県PCR検査等無料化事業

実施事業者募集説明会

2021年12月11日(土)・12日(日)
埼玉県保健医療部感染症対策課

本日の説明項目

1. PCR検査等無料化事業とは
2. 業務全体の流れ
3. 実施事業者の業務
4. 実施事業者登録の準備
5. 経費補助について
6. 事業実施者のサポート

1. PCR検査等無料化事業とは

ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業

○感染対策と日常生活の両立を図る手段として「ワクチン・検査パッケージ」※等の利用を定着させるため、健康上の理由等でワクチン接種を受けられない方の検査を無料化する。

◎埼玉県は12月23日から無料検査開始予定（～令和4年3月31日まで）

【無料検査の対象者】

・ 基礎疾患・副反応の懸念など健康上の理由によりワクチン接種を受けられない方

・ 12歳未満の子ども

※ワクチン・検査パッケージ…ワクチン接種歴確認または検査（陰性確認）をすることで感染対策のための制限（入場者数、営業時間など）を緩和するもの

- ・ 開始時期が決まっている
- ・ 対象者が限定される。

2本立てになっていますが、

- ・ **無料検査の対象者** 及び
- ・ **無料検査の開始時期** が異なります。

感染拡大傾向時の一般検査事業

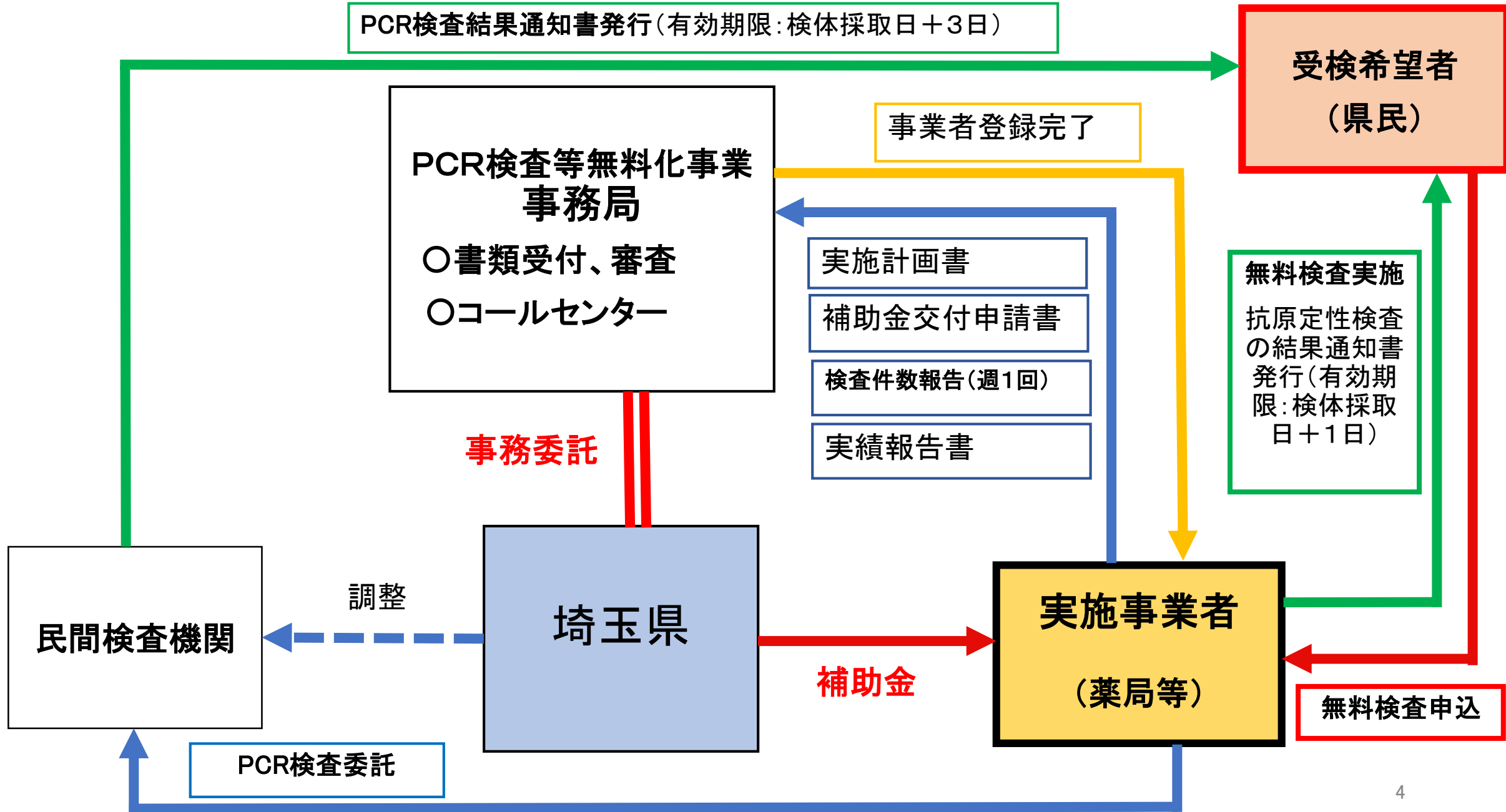
○感染拡大が傾向にあり、知事がインフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づき、感染が不安な無症状の方に検査を受けるように要請した場合、検査を無料化する。（レベル2相当以上）

【無料検査の対象者】

感染リスクが高い環境にある等のため、感染不安を感じる方

- ・ 開始時期が決まっていない
- ・ 多くの方の利用が見込まれる

2. 業務全体の流れ



3. 実施事業者の業務

無料検査を受付け、実施する事業者 = **実施事業者（県に登録）**

- 医療機関、衛生検査所等
- 薬局**
- ワクチン・検査パッケージ制度登録事業者（イベント主催者、飲食店）等

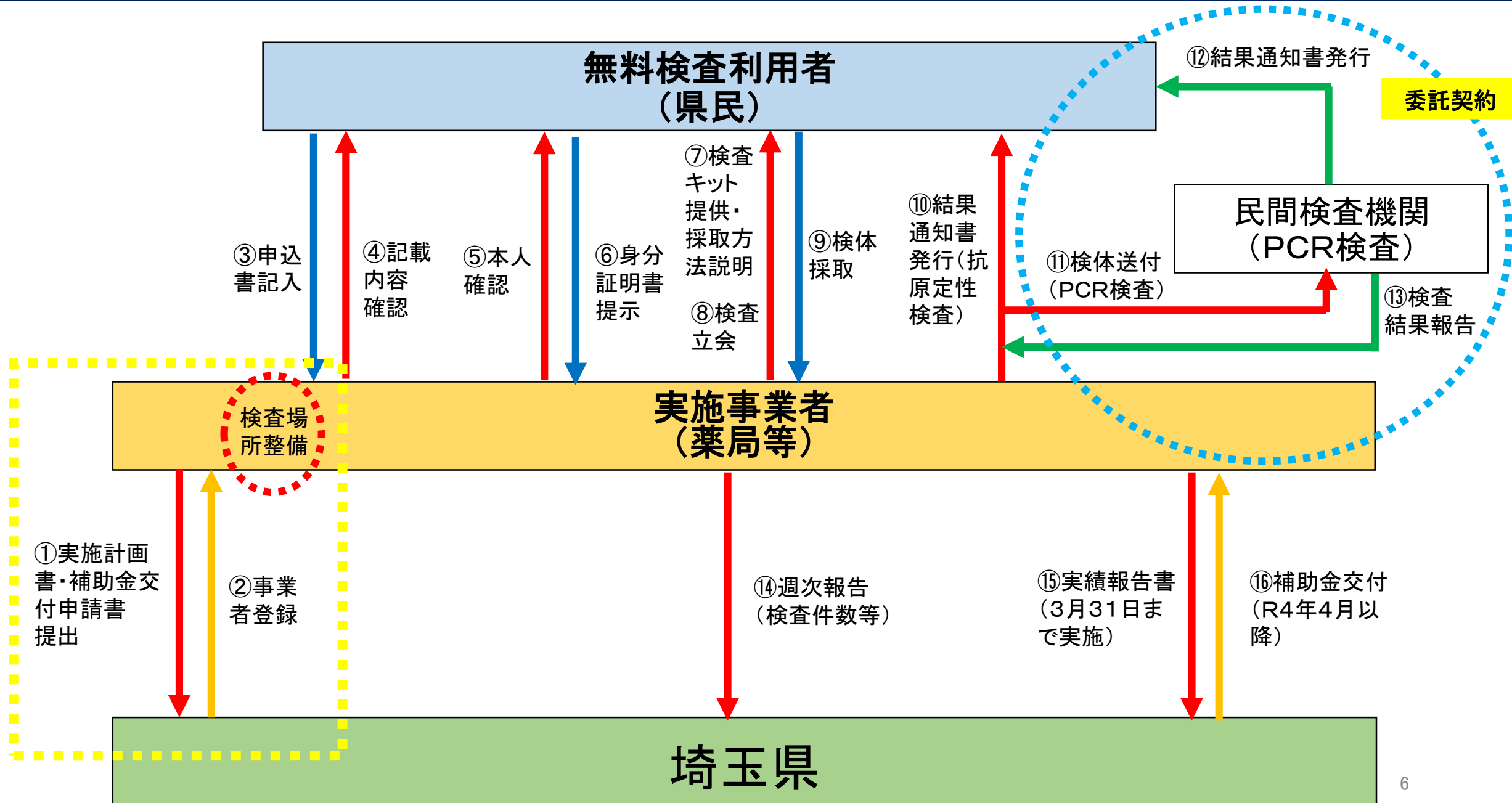
【実施事業者の業務】

◎無料検査実施に係る業務全般

- ・検査申込受付
- ・本人確認（身分証明書等）
- ・検査方法等説明
- ・検査立会（検体採取は受検者本人が行う）
- ・抗原定性検査結果通知書発行
- ・PCR検査を民間検査機関へ委託
- ・検体採取により発生する廃棄物の処理
- ・検査件数等報告（週1回）

事業に係る事務費として
検査1回につき
3,000円
を県から補助します。

3. 実施事業者の業務(2)



4 実施事業者登録の準備(1)

<事前に準備していただくこと>

(ア) 検査実施場所（検体採取専用スペース）の確保

◎次の事項に適合する検査場所が必要です。

- ・受検者が行う検体採取に支障がでないように、売場などと明確に区別されていること。
- ・飛沫防止対策がとられていること。受検者と検査管理者（立会人）の間に2 m以上の距離があるか、ガラス（または透明なアクリル板等）で仕切られていること。
- ・受検者のプライバシー配慮されていること。
- ・検体採取場は十分な明るさを確保し、換気を適切に行える場所であること。
（検体採取はドライブスルー（車中採取）でも可能）

検査実施場所整備のためにパーテーション、飛沫防止アクリル板などを購入した場合は補助金の対象となります。（事業者登録後に購入したものが対象です。）

(イ) PCR検査を委託する民間検査機関との契約（別記）

4 実施事業者登録の準備(2)

<県への書類提出>

(ウ) 実施計画書の提出

【記載事項】

- ・事業者情報（社名、代表者名、所在地、業種 等）
- ・PCR検査、抗原定性検査の実施方法
- ・検査キットの調達方法、単価
- ・1日あたり検査回数見込 等

※様式は県で用意します。

※検査実施場所を示す図面を添付してください。

(エ) 補助金交付申請書の提出

無料検査キット代、事務費、検査実施場所整備費の補助を受けるため書類。

※補助金交付要綱、手続きの方法、申請書記入例などは特設HPに掲載します。

4 実施事業者登録の準備(3)

<検査開始までに準備すること>

(オ) 厚生労働省承認済抗原定性検査キットの準備

- ・承認キットの最新情報は厚生労働省HP「新型コロナウイルス感染症の体外診断用医薬品(検査キット)の承認情報」で確認してください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_11331.html

12/4現在 36商品承認 (承認キットを店頭販売している場合は当該商品で対応可)

(カ) 検査方法に関する研修の受講

検査に立合う方(従業員可)は検査方法に関するWEB研修を事前に受講しておく。

医療従事者の不在時における新型コロナウイルス抗原定性検査のガイドライン<理解度確認テスト>

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00270.html

4 実施事業者登録の準備(4)

【補足】

◎PCR検査の民間検査機関との委託契約

○PCR検査については、店頭で採取した検体を民間検査機関へ送付して検査を依頼するため、実施事業と民間検査機関との間で委託契約を締結する必要があります。

○民間検査機関へ委託する内容

- ・検査キット手配（薬局への配送・配達）
- ・検体の回収（または郵送等による発送）
- ・受検者への結果通知書の発送
- ・薬局への検査結果の報告

PCR検査キット仕入額（上限額8,500円税込）
に含めることができる経費です。

○PCR検査委託料について

委託料は各実施事業者（薬局等）と民間検査機関で決めていただきます。

県がPCR検査に関し補助金としてお支払いできる額は、PCR検査キット仕入額（検査費等含む）（上限額8,500円税込）及び事務費（1件3,000円）の合計11,500円の範囲内です。

※県は、県内民間検査機関の情報提供を行います。

5. 経費補助について

無料検査で実施事業者が負担した経費は、事業終了後、実績報告書に基づきお支払いします。
事業終了日：令和4年3月31日（予定）※概算払い（前払い）ではありません。

【補助対象経費】※補助金のお支払いは令和4年4月以降となります。

- ・PCR検査キット仕入額（上限額 1件につき8,500円（税込））
- ・抗原定性検査キット仕入額（上限額 1件につき3,000円（税込））
- ・事務費 検査1件につき3,000円（回数制限なし）
- ・検査場所整備費 1店舗130万円（税込）を上限 ※高額なものはリースで調達してください。
（検査場所を設置するためのパーティション、アクリル板、机、いす、ライト、空気清浄機などを想定）

【補助金お支払いまでの流れ】

- ① 12月23日～ 実施計画書と併せて補助金交付申請書を事務局へ提出（事業者）
- ②～3月31日迄 無料検査実施（事業者）
- ③ 4月1日～ 実績報告書を事務局へ提出（事業者）
- ④ 4月中旬～ **実績報告書審査、精算金額決定、お支払い開始（県）**

※実施事業者の都合により3/31までに事業を終了することも可。実績報告書受領後、精算手続きを行います。¹¹

6. 事業実施者のサポート

事業実施者が円滑に無料検査を実施するためのサポート

○コールセンター（12月23日開設予定）

- ・実施期間中無休で実施事業者からの無料検査に関する質問を受付けます。
※一般からの質問も受付けます。

○特設ホームページ

- ・実施事業者用ページを開設し、無料検査実施に関する情報を提供します。
- ・一般向けページに無料検査実施場所（店舗）の一覧を掲載します。

○無料検査の周知・広報

- ・無料検査や対象者に関する正しい情報を新聞、車内広告、テレビ、ラジオ、WEBで発信します。

○のぼり旗提供

- ・事業者登録完了後に、無料検査実施を告知するのぼり旗を提供します。

<<PCR検査等無料化事業 実施事業者登録に関するお問合せ>>

埼玉県 保健医療部 感染症対策課 感染症・新型インフルエンザ対策担当

電話：048-830-3557 E-mail: a7500-13@pref.saitama.lg.jp